

## 謝 辞

近年、瀬戸内町では、開発事業と埋蔵文化財保護の調整が増加し、埋蔵文化財保護や調査が年々重要となってきました。しかし、瀬戸内町では、埋蔵文化財に対する対応が確立されていませんでした。瀬戸内町では、埋蔵文化財保護の体制作成が急務になりました。その際、多くの方々に御協力いただきました。特に、鹿児島県教育庁文化財課の皆様には懇切丁寧な御指導と御助言をいただきました。おかげさまで行政資料整備や体制作成が格段に充実いたしました。厚く御礼申し上げます。

そして、ご多忙中にも関わらず、調査指導してくださいました琉球大学の池田榮史先生、調査指導だけでなく、埋蔵文化財の保護行政についても御教授くださいました名瀬市教育委員会の高梨修先生、遺物の製作実験から、貝などの生息域まで幅広い貴重な御教授をくださいました徳之島町の文化財保護審議会委員の池村茂先生、先生方の御指導いただくことができたからこそ、瀬戸内町の文化財保護は貴重な一歩をしるせたと思います。また、調査協力してくださいました瀬戸内町文化財保護審議会会長の前田芳之先生、諸鈍シバヤ芸能保存会会長の上田伊津夫先生、遺物の整理に協力してくださいました名瀬市教育委員会嘱託員の清さつき先生、先生がたの御協力のおかげで調査・遺物整理を円滑に進めることができました。心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、今回の遺跡詳細分布調査を行う上で、瀬戸内町役場各課から御高配・御指導を賜りました。特に、瀬戸内町役場建設課の皆様には、埋蔵文化財の保護に御協力いただき、開発事業と文化財保護を円滑に進めていけるよう御協力いただいております。厚く御礼申し上げるとともに、今後とも御指導・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上、瀬戸内町遺跡詳細分布調査は、多数の皆様方の御理解と御協力により成し遂げられたものであります。衷心より厚く御礼申し上げます。これからも調査を継続してまいります。今後とも御指導、御助言、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

瀬戸内町文化財調査報告書第1集  
瀬戸内町遺跡詳細分布調査報告書

2005年3月31日発行

編集・発行 瀬戸内町教育委員会

〒894-1592 瀬戸内町古仁屋船津23

印刷 (有) 奄美共同印刷

〒894-0021 名瀬市伊津部町21-14